

おんびら いせき
扇平遺跡
発掘調査報告書

(概 報)

平成 19 年度榎垣外遺跡ほか岡谷市内発掘調査報告書



長野県岡谷市教育委員会

序

岡谷市は諏訪湖の北西部に位置し、北部の鉢伏山や高ボッチの山並みを背景に大小の河川が形成する扇状地、塚間川西岸の南北に長い段丘、また諏訪湖西岸や天竜川両岸には山塊が迫り、釜口水門からは天竜川が流れ出ています。

このような環境にある岡谷市には縄文時代をはじめ、弥生、古墳、奈良、平安、中近世の各時代にわたり約 200 箇所の遺跡が確認されています。こうした歴史的環境にあつて、開発に伴う埋蔵文化財の調査は毎年数多く行われ、貴重な成果を記録に残すとともに、出土品の保存に努めてまいりました。

さて本年度の遺跡調査件数は 15 件に及び、貴重な調査成果を得ることができました。ここに「扇平遺跡発掘調査報告書(概報)」を刊行いたします。今後これらの遺跡調査で得られた成果を公開していくことで、文化財の大切さを知っていただけることと思います。またこの報告書が多くの皆様に活用されることを願っております。

最後になりましたが、今年度の遺跡調査にあたり、ご理解とご協力をいただきました土地所有者と事業主体者の皆様に感謝申し上げます。また発掘調査に携わっていただいた皆さんには、炎暑、厳寒のなかをご苦労いただきお礼を申し上げます。

平成 20 年 3 月

岡谷市教育委員会

教育長 北澤 和男

例言

1. 本報告書は、扇平遺跡発掘調査報告書（概報）である。
2. 事業は、国の平成19年度国宝重要文化財等保存整備費補助金の交付を受けて、岡谷市教育委員会が実施した。
3. 調査は、国の補助金交付を受けた岡谷市教育委員会が、平成19年4月1日から平成20年3月21日にかけて実施した。整理作業は現場作業の少ない時期に行ったが十分な整理が終了していないため概要の掲載にとどめてある。
4. 出土遺物、記録図面、写真などの資料は岡谷市教育委員会が保管している。

目次

序

例言

目次

1. 平成19年度試掘・確認調査の概要	1
2. 扇平遺跡	3
3. 試掘・確認調査写真	6

1. 平成19年度試掘・確認発掘調査の概要

本年度、岡谷市内の周知の遺跡において、農地転用、公共事業等の開発が計画・実施され、岡谷市教育委員会が対応した件数は15件13遺跡である。

平成18年度に発生した豪雨災害の復興をはじめ、公共事業に伴う試掘調査が6件発生した。

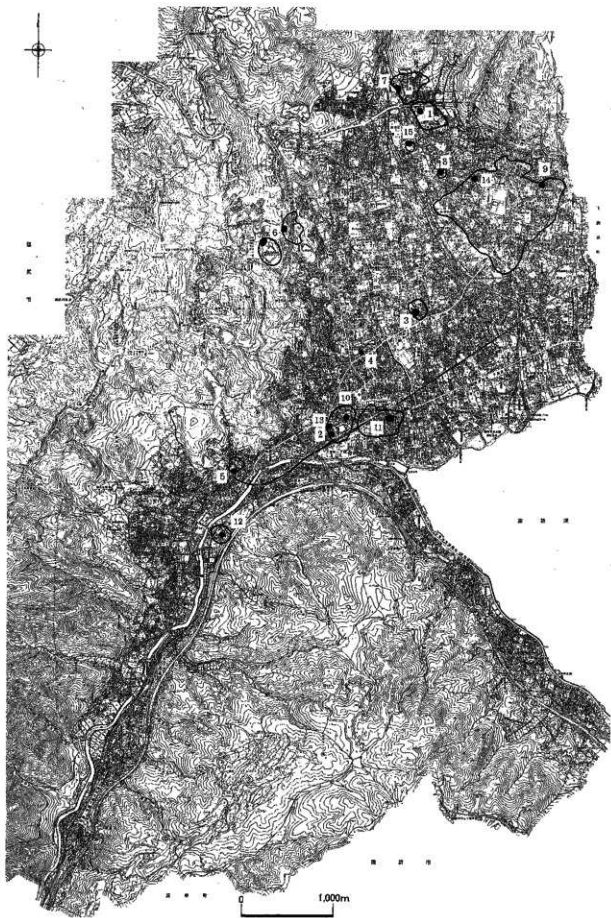
また、公共施設建設候補地の地質調査で土器の破片が採取されたことから分布調査を実施した雀垣外遺跡は、地表から約100cmの深さまでは整地のため砕石などにより盛土された地層であり、現在平地のように見られる地形も以前は北西から南東に向かった緩やかな傾斜地であったと考えられる。遺物が出土した地層はこの盛土の下にある黒色土層で約80cmの厚さがあり、盛土工事以前の地表土であると推測される。この黒色土層からは縄文時代中期、後期の土器破片、黒曜石、弥生時代の土器破片、須恵器片、土師器片などが混在して出土している。また土器片の破断面は磨耗が激しく他の場所から混入した可能性が高い。黒色土より下層の地層からの出土遺物は無く遺構は確認できなかった。以上の地層観察から本調査地点には、縄文、弥生、奈良、平安時代の混在した遺物を部分的に含む盛土以前の表土層が存在し、近接する間下丸山遺跡などからの遺物の混入の可能性も想定され、遺物散布地として字名に従い遺跡名を雀垣外遺跡とした。

厩平遺跡では個人住宅建設に伴う発掘調査を実施し、縄文時代中期後葉住居跡、縄文時代後期突被土壌墓の発見となった。昨年度にも個人住宅建設に伴う発掘調査が発生し、縄文時代後期の住居跡が発見されるなど、遺構密度の高い地域であることがうかがわれる。

また、横道遺跡の試掘調査の発生では、岡谷駅前の再開発の傾向が見られる。

番号	調査期間	遺跡名	所在地	調査の理由	主な遺構	遺構遺物の時代	調査面積(㎡)
1	4.17～5.18	上屋敷遺跡	岡谷市長地出早三丁目5536外	宅地造成	縄住1・小竪穴	土師片・石片	243㎡
2	4.23～4.27	横道遺跡	岡谷市本町一丁目3676-5外	交番建設	なし	なし	9㎡
3	5.16	庄ノ原遺跡	岡谷市銀座二丁目6475-1	個人住宅建設	なし	土師片・石片	6㎡
4	5.21～5.23	雀垣外遺跡	岡谷市本町四丁目1番	分布調査	なし	土師片・石片	340㎡
5	6.4	熊野神社境内遺跡	岡谷市川原上二丁目326-1	駐車場敷地	なし	なし	3㎡
6	6.11～7.31	西林遺跡・弁野遺跡	岡谷市今井 地先	河越20号改良工事	なし	土器片・石片	83㎡
7	7.3～8.29	厩平遺跡	岡谷市長地出早二丁目5745-1外	個人住宅建設	縄住1、縄小竪穴	縄文土器2種ほか	117.8㎡
8	7.19～7.24	権現堂遺跡	岡谷市長地出早一丁目4860-2外	集合住宅建設	なし	なし	44㎡
9	10.18	雀垣外遺跡	岡谷市長地出早一丁目3675-2外	個人住宅建設	なし	なし	4㎡
10	10.19～11.7	横道遺跡	岡谷市中央一丁目3725-1	個人住宅建設	なし	なし	11㎡
11	11.8～11.22	海戸遺跡	岡谷市天竜町三丁目5328-4外	県道拡幅工事	なし	土器片・石片	20㎡
12	12.17	志平遺跡	岡谷市川原上二丁目7番外	河川改修工事	なし	土器片・石片	12㎡
13	12.25	横道遺跡	岡谷市本町1丁目3456-4外	ビル解体工事	なし	なし	4㎡
14	1.10	雀垣外遺跡	岡谷市長地出早一丁目1-40	個人住宅建設	なし	土師片	12㎡
15	1.16～1.21	豊太郎垣外遺跡	岡谷市長地出早一丁目8番	市道拡幅10年度工事	なし	土師片・石片	28㎡

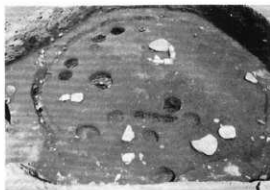
第1表 平成19年度試掘・確認発掘調査一覧表



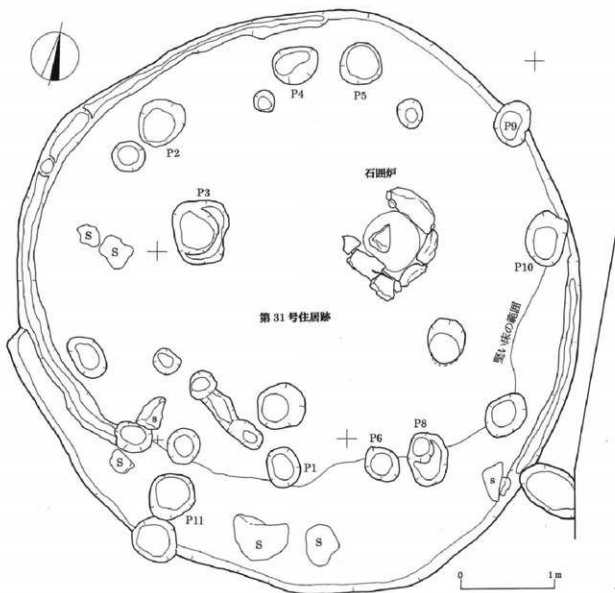
第1図 試験・確認発掘調査地点 (番号は第1表の一覧表に同じ)

2. 扇平遺跡

発掘調査の場所	岡谷市長地	
発掘調査の期間	平成 19 年 7 月 3 日から 平成 19 年 8 月 29 日	
調査の原因	個人住宅建設	
調査面積	117.8 m ²	
発見された遺構	縄文時代中期後葉住居跡	1 棟
	縄文時代後期小竪穴	5 基
発見された遺物	縄文時代中期後葉深鉢形土器	2 点
	縄文時代後期浅鉢形土器	1 点
	石鏃 打製石斧 凹石	



第 2 図 第 31 号住居跡



第 3 図 第 31 号住居跡遺構平面図 (1:40)

扇平遺跡は岡谷市の北部に位置し、長地の山間から流れ出す横河川や長久保沢の扇状地西側の縁辺部に広がる遺跡である。扇状地は台地の西側を流れる横河川により浸食が激しく、急な斜面となっている。

今回の調査地は、横河川に浸食された台地より一段低い河岸段丘の一部である。以前の調査でも縄文時代後期の敷石住居跡が発見されており、台地の西側の河岸段丘にも集落の存在が明らかとなっている。調査の結果、縄文時代中期後葉住居跡1棟、後期小竪穴5基が発見された。5基の小竪穴のうち1基は浅鉢形土器が穴の底に近い位置から伏せた状態で発見され、甕被土墳墓と呼ばれるお墓であると考えられる。これらの小竪穴は土墳墓群であると推測される。

第31号住居跡

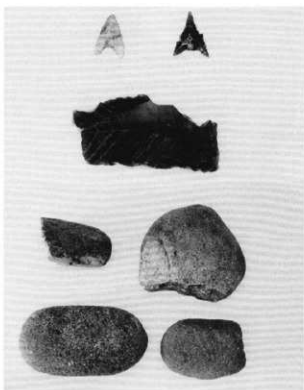
試掘調査により、耕作土の下層に縄文式土器破片を含む暗褐色の地層がありさらに掘り進めを行うと褐色土層上面で黒色土の落ち込みを発見した。遺構の平面形を確認するため調査区を拡張し、不整形の住居跡を発見した。住居跡は直径約6mで、覆土が20cmほどの薄さであるため出土遺物は少ない。床面は住居中央から西側が顕著に堅くタタキ締められているが、南壁際から東壁際は堅くタタキ締められた床は確認できなかった。住居中央よりやや北側に石囲炉が発見された。直径30～50cmの扁平な石を約1m四方に四角に配置した所謂、掘炬燵状の石囲炉である。残念ながら炉石の一部は既に抜き取られていた。床面には支柱穴と考えられる穴が発見され、周溝は北壁から西壁の際と東側の壁際に確認することができた。床面及び柱穴を精査すると、周溝の痕跡が壁際より住居内側に確認されたことや、南側の平面形に張り出し部分があること、支柱穴と考えられる穴が隣接していることが観察でき、住居の建て替えが行われたことが推測される。出土遺物は少ない



第4図 第31号住居跡遺物出土状態



第5図 第31号住居跡出土土器

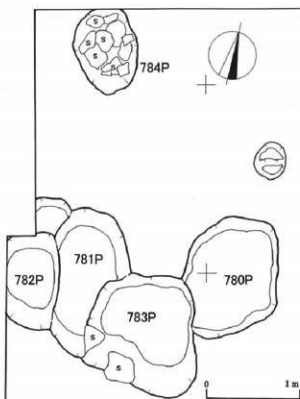


第6図 第31号住居跡出土土器

が、石囲炉北側より縄文時代中期後葉期の土器の上半部が床面より出土した。

781号小竪穴

長径約160cm、遺構確認面からの掘り込みは深さ約28cmの小竪穴から、縄文時代後期の浅鉢形土器が伏せられた状態で発見された。出土した土器は基底部よりやや浮いた状態で出土しており覆被土墳墓と呼ばれる墓穴と考えられる。この周囲にも重複して小竪穴が発見されており墓域として考えることもできる。平成18年度に隣接する土地で発掘調査が行われ、縄文時代後期の敷石住居跡が発見されていることから同時代の墓域と考えられ、当時の集落の構成を考えるうえで貴重な発見となった。



第7図 小竪穴遺構平面図 (1:40)



第8図 小竪穴・覆被土墳墓 (781P)
781Pを中心に左上に783P



第9図 覆被土墳墓出土土器 (781P)

3. 平成19年度試掘・確認調査写真（番号は第1表の一覧表に同じ）



第10図 1. 上屋敷遺跡



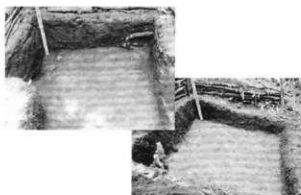
第13図 4. 雀垣外遺跡



第14図 5. 熊野神社境内遺跡



第11図 2. 横道遺跡



第15図 6. 西林遺跡・弁磨遺跡



第12図 3. 庄ノ畑遺跡



第16図 7. 扇平遺跡



第 17 図 8. 榎現堂遺跡



第 21 図 12. 志平遺跡



第 18 図 9. 榎垣外遺跡



第 22 図 13. 横道遺跡



第 19 図 10. 横道遺跡



第 23 図 14. 榎垣外遺跡



第 20 図 11. 海戸遺跡



第 24 図 15. 豊太郎垣外遺跡

報告書抄録

ふりがな	おんびらいせきはつくつちょうさほうこくしょ (がいはう)							
書名	扇平遺跡発掘調査報告書 (概報)							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	長野県岡谷市教育委員会							
編集機関	長野県岡谷市教育委員会							
所在地	〒394-8510 長野県岡谷市幸町8-1 TEL 0266-23-4811							
発行年月日	平成 20 年 (2008 年) 3 月 21 日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
扇平	長野県 岡谷市 長地	20204	131	36° 05' 17"	138° 03' 15"	20070703 ~ 20070829	117.8 m ²	個人住宅建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
扇平	集落	縄文	縄文時代中期後葉 住居跡1棟 縄文時代後期 小竪穴5基		縄文式土器 2			
要約	平成 19 年度、岡谷市内における個人住宅等建設工事および公共事業等の試掘確認発掘調査報告書である。 扇平遺跡では縄文時代中期後葉住居跡1棟、縄文時代後期小竪穴5基が発見された。そのうち1基は竪穴式土壇。							